

東 部

地域局

通 信

第11号

2023. 10. 20

発行 静岡県東部地域局地域課



こんにちは！ 静岡県東部地域局です。東部地域局通信は、静岡県東部の14の市町の様々な情報を局員それぞれが独自の視点で取材編集しています。富士山や駿河湾の豊かな自然環境やサイクリングコース、日本庭園や神社等の歴史的建造物など、バラエティに富んだ素材が揃う東部地域の魅力をお届けします。局員一人一人の個性あふれる記事にもご注目ください。お楽しみに！

東アジア文化都市2023静岡県



「東アジア文化都市」の
詳細はこちら⇒



令和5年、静岡県は中国の成都市・梅州市、韓国の全州市とともに「東アジア文化都市」に選定され、文化の首都として東アジアの相互理解や連帯感の形成、多様な文化の国際発信のために、1年間を通じて様々な文化芸術イベントや文化交流を実施しています。とりわけ9月～11月の3か月間は、コア期間として、文化・交流事業を集中的に開催し、県全体を一層盛り上げています。

東部地域では、映像ライブや演劇、音楽などの多彩なイベントが行われ、「文学」とゆかりの深い伊豆では、「伊豆文学祭」をはじめとする文学に関するイベントも開催されます。

今後東部地域で開催されるオススメイベントの紹介

全てのイベント情報は
HPを御覧ください⇒



● SPAC観光演劇「伊豆の踊子」

川端康成の小説を舞台化した観光演劇「伊豆の踊子」が、2023年の10月7日の静岡公演を皮切りに、下田、修善寺、浜北、沼津の県内各地で公演が行われます。

今回、劇中に伊豆で撮り下ろされた映像を組み込み、舞台を見ると実際にその場所を訪れたくなる「観光演劇」として、地域の文化・観光資源にスポットを当てるといった試みを行っています。

この機会に、是非観光演劇「伊豆の踊子」を御覧になってはいかがでしょうか。「伊豆」と「文学」の深いつながりは東部地域局公式noteでも紹介しています。
(担当:須田)



詳細はSPAC HP
から御覧ください↓



東部地域局
note ↓



詳細はHPへ



東部地域局 note ▶



● ふじのくに食と温泉文化フォーラム

静岡県では、県内の多彩で高品質な食材と、豊富な観光資源を融合して、来訪者に感動体験を提供するガストロノミーツーリズムを推進しています。ここ東部・伊豆半島地域でも、わさびやジオパーク、温泉など、地域特有の食や自然、歴史・文化などの資源を活用した取組が行われています。

11月1日(水)には、沼津市のプラサヴェルデにて「ふじのくに食と温泉フォーラム」を開催予定です。当地が世界に誇る食文化と温泉文化の魅力を変えて発見してみませんか。
(担当:小玉)

● 熱海芸術祭

〈開催日〉
9月15日(金)
～12月17日(日)
〈会場〉
熱海市内の各所
〈問い合わせ〉
熱海市観光経済課

● 井上靖文学館
開館50周年記念事業

〈開催日〉
9月16日(土)
～3月12日(火)
〈会場〉
長泉町井上靖文学館 ほか
〈問い合わせ〉
長泉町井上靖文学館

● 舞台「一枚の絵」

〈開催日〉
10月28日(土)29(日)
〈会場〉
裾野市民文化センター
〈問い合わせ〉
舞台「一枚の絵」
実行委員会事務局

● 富士市総合文化祭 秋祭

〈開催日〉
10月4日(水)
～11月5日(日)
〈会場〉
ロゼシアター
〈問い合わせ〉
富士市市民部
文化スポーツ課

知事が動く！ 東部移動知事室 7月18日・19日に実施した東部移動知事室の視察先について、複数号にわたって紹介しています。

キャンプ×ビール 東部地域のクラフトビールの先駆け — (資)ベアードブルーイング(伊豆市大平) —

伊豆市

詳細はnoteから
御覧ください⇒

静岡県東部はクラフトビールの聖地と言われるほど、クラフトビールの醸造が盛んな地域ですが、(資)ベアードブルーイングは東部地域の中でも先んじて取り組んでおり、平成14年1月から沼津市でベアードビールの販売を開始しました。平成26年には、生産工場を伊豆市修善寺のキャンプ場跡地に移し、ビールと自然を掛け合わせた「ベアード・ブルワリーガーデン修善寺」を開設。

その後、キャンプ場を復活させ「キャンプ・ベアード」を開設、運営しています。

視察では、環境に優しい持続可能な醸造設備やクラフトビールの封入現場などを見せていただきながら、クラフトビールにかける情熱についてのお話をさせていただきました。
(担当:中村)



醸造機器説明の様子

美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議

東部地域会議 / 伊豆半島地域会議

令和5年9月13日に開催した「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議」で、地域の自治体、金融、産業、教育など様々な分野の代表者等が出席し、地方創生による人口減少対策について意見を交わしました。出生数や移住者を増やすなどの人口減少の「緩和策」と、人口が減少中でも快適な暮らしを維持する「適応策」の2つの視点から意見交換を行いました。

東部地域会議(三島市で開催)では、「買い物の際などに短時間で子どもを預けられる施設や地域でサポートする仕組みが必要。」といった子育ての面や、「AIやデジタル化の幅広い活用事例を増やし、発信することで、AIを取り入れにくい業種でも、導入方法を見いだす手助けになるのではないか。」という産業の面での意見も挙がりました。また、観光の面では、『言葉の壁を感じる』『交通の乗り継ぎがうまくいかない』『現金対応の店が多い』といった観光客の声から、旅行者の利便性を向上させる受入体制が必要である。」という現状の課題を踏まえた解決策の提案がありました。



東部地域会議の様子

伊豆半島地域会議(伊東市で開催)では、医療の面として、「移住者を増やすためには医療環境の整備が重要であり、医師の確保や小児医療の充実が必要である。」や、教育の面から、「子どもの習い事のオンライン化『リモートスタディ』を進めることで、送迎の負担を軽減できる。」といった意見が挙がりました。

皆様からいただいた貴重な御意見を踏まえて、今後の県施策への反映を目指してまいります。

(担当:中野)

あなたも「わたしの避難計画」を作ってみませんか？

防災



わたしの避難計画HP



紹介動画

近年、大規模な風水害が頻発するようになってきていますが、皆さんは自宅等の災害リスクを把握しているでしょうか。

静岡県では、どのようなリスクがあるか知らない、避難のタイミングが分からないという方に、「わたしの避難計画」の作成を推奨しています。

「わたしの避難計画」を作ると、災害の種類ごとに「いつ」「どこに」避難すればよいか、簡単に把握することができます。

スマートフォンでも簡単に作ることができますので、左のQRコードからアクセスしてみてください。
(担当:河村)

東部地域で話題の取組紹介

静岡県東部地域で活躍されている個人・団体の皆様の取組を当局職員が取材し、紹介します。

Instagram



X(旧Twitter)



←取材の様子は、東部地域局公式SNSでも紹介しています！

全国に先駆けて活動する御殿場市消防団女性部の歩み

— 御殿場市消防団女性部部长 木村理絵さん —

(令和4年度知事広聴「平太さんと語ろう」(御殿場)発言者)

御殿場市

詳細はこちら→



御殿場市消防団女性部は東日本大震災があった2011年に発足し、現在(2023年9月時点)15人の団員が在籍しています。活動内容として、災害ボランティア本部の立ち上げ訓練への参加や陸上自衛隊第34普通科連隊(板妻駐屯地)との定期訓練などを実施しており、全国に先駆けた活動をしていると注目されています。

しかし、発足当初からこのような活動を行っていたわけではありません。女性部部長の木村さんは「女性部の役割は後方支援となっていました、業務内容が漠然としており、仕事を考えて作るところからのスタートでした。」と当時を振り返ります。



第34普通科連隊との定期訓練でロープワークを学ぶ様子

ゼロからスタートした御殿場市消防団女性部が、全国に先駆けて様々な活動を行うようになった経緯とは…。そこには“木村さんをはじめとする消防団員の積極的な行動”と“人とのつながり”がありました。詳細は東部地域局公式noteを御覧ください。(担当:鈴木)

■関連する静岡県の取組紹介

昭和60年には県内に約26,000人いた消防団員が、現在は約17,000人まで減少しています。静岡県では、一定の要件を満たした消防団員を雇用する事業所の事業税を軽減する消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例を定めています。

詳細はこちら



多様性を認め合える社会へ

— RainbowDooRしずおか 代表 後藤理玖さん —

(令和4年度知事広聴「平太さんと語ろう」(富士市)発言関係者)

沼津市

詳細はこちら



RainbowDooRしずおかは、LGBTなどの性的少数者の居場所づくり事業、相談事業、学校現場などでの啓発・研修活動に取り組んでいます。

代表の後藤理玖さんは、令和5年9月2日に富士宮市役所で開催した「第3回富士宮人づくり講座」で、トランスジェンダーとしての御自身の経験や、多様性を認め合える社会に向けて伝えたい思いなどを講演されていました。「『普通の尺度』や『幸せの形』は人それぞれであると理解すること、人の痛みや悩みを想像することが大切」とお話しされていました。

詳細は東部地域局公式noteを御覧ください。(担当:中野)

■関連する静岡県の取組紹介

県では、令和5年3月1日から「静岡県パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。パートナーシップとは、「お互いを人生のパートナーとし、相互に責任を持って協力し合うことにより、共同生活を行うことを約束した二人の関係」のことです。性の多様性への理解を広め、誰もが自分らしく安心して暮らせる環境づくりを進めていきます。



← 詳細はこちら

「伊豆・富士山歴史絵巻Webスタンプラリー with大河ドラマ館」のPRイベントを開催しました！

9月29日(金)に、道の駅伊豆ゲートウェイ函南で「伊豆・富士山歴史絵巻Webスタンプラリー with大河ドラマ館」のPRイベントを行いました。イベントではブースを設置し、チラシやノベルティを配布しました。また、施設内のラジオブースから公開生放送された『K-MIX LIFE! LIFE! LIFE!』に担当者が生出演し、スタンプラリーのPRを行いました。たくさんの方にお越しいただき、とても賑やかなイベントとなりました。

スタンプラリーは11月30日(木)まで開催中です。ぜひ御参加ください！

(担当:駒谷)



スタンプラリーの詳細はこちらから



北条家の歴史を伝える 企画展「いずのくに 北条の郷」

「いずのくに 北条の郷」
HPはこちら↓



開館期間:令和5年7月22日(土)~12月17日(日)
開館時間:午前9時30分~午後3時30分
開館日:土・日・祝
入場料:無料
会場:韮山時代劇場(伊豆の国市四日町772)
主催者:伊豆の国市観光文化課

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送をきっかけに、北条家ゆかりの地として注目を集めた伊豆の国市。大河ドラマ館が設置されていた韮山時代劇場で、現在、企画展「いずのくに 北条の郷」を開催しています。

企画展では、「源頼朝の『小さい観音像』」をはじめとしたドラマ内で実際に使用された小道具や衣装のほか、市内の北条家ゆかりの史跡やドラマ撮影で使用したオープンセットの見所を紹介したパネルなどを展示。10月下旬から11月上旬には展示替えも予定しているため、何度訪れても楽しめる内容となっています。

ドラマのシーンを思い起こしながら、改めて地域に残る北条家の歴史に思いを馳せてみませんか。

※最新の情報はHPにて御確認ください。

(担当:小玉)

東部地域局は、14の市町を担当エリアとしています

沼津市・熱海市・三島市・富士宮市・伊東市・富士市・御殿場市・裾野市・伊豆市・伊豆の国市・函南町・清水町・長泉町・小山市



東部地域局通信(Web版)はnoteでも公開しています



JR沼津駅北口から徒歩約10分

静岡県東部地域局

〒410-0055 沼津市高島本町1-3

TEL 055-920-2139

MAIL toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/chiiikyoku/tobuchiiki/index.html>

X (旧Twitter) : Toubu_Shizuoka instagram : shizuoka.pref_toubu